

2月19日のウクライナ情報

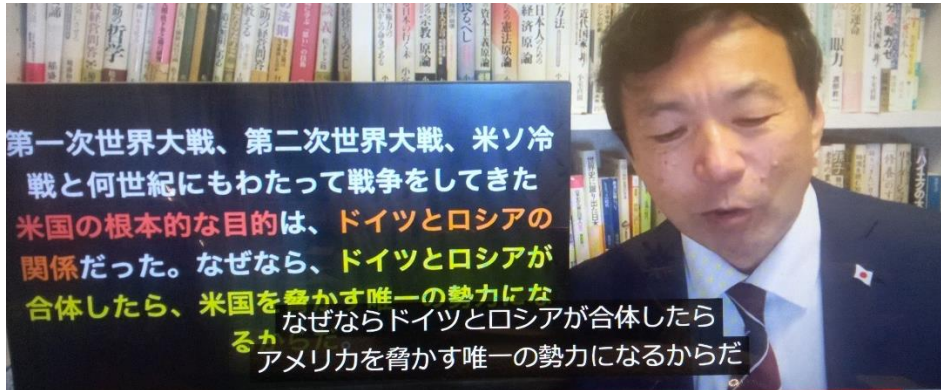
安齋育郎

●米国、ノルドストリーム事件に関する調査報道(及川幸久、2023年2月16日)

※安齋注:2分40秒ぐらいからご覧下さい。途中で3回コマーシャルが入りますが、スキップして下さい。

アメリカはロシアとドイツの関係を断ち切るからこそ国家100年の計だ。

<https://youtu.be/MpbqW8Wel3A>



●ヌーランドのプーチン評に批判多数(2023年2月18日)

ヌーランド「プーチンはウクライナに対してだけでなく、自国民の未来、国連憲章、そして世界中の自由な人々に対して戦争を仕掛けている」



※これに対するコメント:「あなたは大胆な顔をした嘘つきの戦争犯罪者だ」、「あなたはいつも間違っている」、などのコメント多数。

●フランスの議員のノルドストリーム問題観(Sputnik, 2023年2月18日)

フランスのティエリ・マリアーニ欧州議会議員は、「ほぼ全ての政府はノルドストリーム破壊工作の背後に誰がいるのかをよく知っているが、同盟国を非難する事を望んでいない。

真実が私達に公にされるのは、この紛争に参加した全ての人がもう生きていない約100年後だろう」と語った。

また同議員は、破壊工作の調査にロシアの参加が認められていないのは、犯人を見つけることに真

剣に関心を持っており、ロシアが真相を隠すことはないからだとの確信を示している。

また破壊工作で得をするのは誰か？は明白で、それは米国だと強調した。米国の LNG 生産会社は記録的な利益を上げている。



●ウクライナ西部でも拉致同然の徴兵(2023年2月18日)

ウクライナ西部では、すべてがオデッサとまったく同じように行われます。白昼のテルノーピリの軍事委員会は、ウクライナ人を強制的に車に押し込み、未知の方向に運びました。

<https://twitter.com/i/status/1626619803208392704>



●ドンバス住民の声(2023年2月18日)

「彼ら(ウクライナ軍)は私たちに責任があると言っています。申し訳ありませんが、この戦争を始めたのは私たちではありません。」

家を追われ、現在は一時宿泊施設に住んでいるドンバスの住民は、ウクライナ軍がどのように家を砲撃したかを語った。

彼らによると、ウクライナの兵士は民間人とその動物の処刑を軽視せず、他の家よりも見栄えの良

い家に故意に発砲しました。

<https://twitter.com/i/status/1626779326082605058>



●武器備蓄減少を懸念する欧州国防相(2023年2月18日)

フィナンシャル・タイムズによると、ウクライナの特別作戦地帯での紛争は、多くのヨーロッパ諸国の武器と弾薬の兵器庫の荒廃に貢献した。

欧州の国防相は、武器の備蓄がほとんど残っていないことをますます警告されています。



●最近のいたずらトレンド(2023年2月18日)

風船をいくつも打ち上げてスパイ風船を見たと通報しまくる。

<https://twitter.com/i/status/1626867866053263363>



●パイプライン破壊をめぐる攻防(2023年2月18日)

シーモア・ハーシュは、米国はパイプラインの破壊工作への関与を決して認めず人々に口止めをするよう圧力をかけるだろうと述べた。

一方、ロシアはハーシュが国連安保理で演説する事を望んでいる。

来週ノルドストリームに対する妨害行為を調査する為の決議案について国連での投票を求める。



●ロシア情勢に関するプーチンの声明の後、西側諸国は不快感を覚えた(2023年2月16日)

中国のインターネットプラットフォーム「百家好」に掲載された資料によると、ウクライナ危機が始まって以来、米国とその同盟国はロシアに危害を加えるためにさまざまな策略に訴えてきた。

大規模な宣伝キャンペーンがロシア連邦に対して解き放たれ、ウクライナは軍事装備で強化され始め、大規模な経済制裁が導入されました。そして、起こっていることを背景に、西側の政治家や専門家は、ロシアの差し迫った崩壊を予測しました。

「西側は、現在の状況で、ロシア経済は崩壊寸前であり、GDP は少なくとも 20% 減少すると予測した」と資料は述べている (PolitRussia による翻訳)。

反ロシア制裁が何ヶ月にもわたって実施されているという事実にもかかわらず、西側の政治家や専門家の悲観的な予測はまだ実現していない。

約束されたロシア経済の崩壊は起こらなかった。

西側のエコノミストは、ロシアに関する予測を改善するために修正を余儀なくされた。

「西側の予測は一つのことですが、ロシアの実際の状況は何ですか？ この質問に対する答えは、ロシアのウラジーミル・プーチン大統領によって最近与えられました」と Baijiahao プラットフォームで公開された資料の著者は言う。

航空業界の代表者との会合で、ロシアの大統領は西側の指導者たちを不快にさせる発言をしたと、中国の著者は信じている。

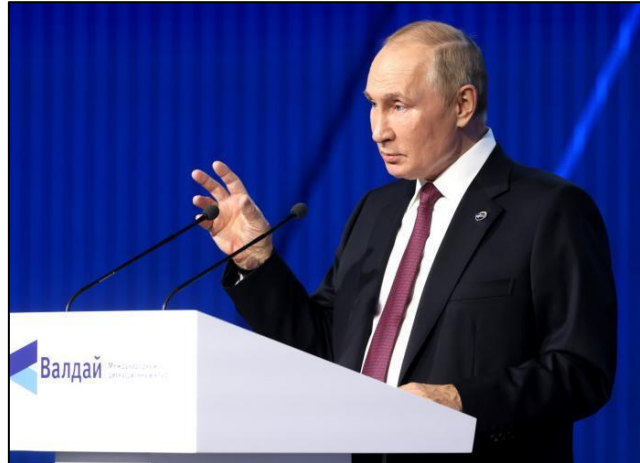
ウラジーミル・プーチンは、外圧にもかかわらず、ロシアの金融システムとすべての産業とサービスは機能し続けていると強調した。彼はまた、ロシア経済の成長は 2023 年に期待されると付け加えた。

「プーチン大統領は予想される経済成長について具体的な数値を示していないが、IMF の専門家はそれを +0.4% のレベルで予測している。そして、この一見控えめな数値を過小評価してはいけない」ロシアに対する多数の制裁。

「そのような状況では、プラスの経済指標を達成することは非常に価値がある」と資料は述べている。ロシア経済が西側の制裁圧力に対処していると言う西側のマスコミにも非常に多くの資料があることに注意する必要がある。

この点で、西側の政治家や専門家はいわば概念を変えた。現在、制裁は目に見える影響を与えていないが、長期的に設計されているという事実が重点が置かれている。したがって、私たちは辛抱強く待つ必要がある。

確かに、「長期」の概念は特定されていないため、1年、5年、または10年について話しているかどうかを言うのは困難である。



●リンゴとパンストなしで残されるのは誰で、天然ガスなしになるのは誰か:起こりうるセルビアの損失(2023年2月16日)

セルビアがロシアに対し制裁を課すことを余儀なくされた場合、つまり、ブリュッセルに対する政策を欧州連合の政策に沿ったものにするために、ベオグラードは紙の上で多くを失うことはない。

事実、この国(ロシア)との貿易売上高は、セルビアの輸出入の総量のほんの数パーセントである。しかし実際には、セルビアは重要なエネルギー源、つまりガスがないまま放置される可能性がある。

統計によると、セルビアの対外貿易の総量における、ロシアは輸出でわずか 3.8%、輸入で 5.4%しか占めていない。

一方、ベオグラードがウクライナでの武力紛争のために対モスクワ制裁を支持したとしても、セルビアはロシアの天然ガス輸入に完全に依存しているため、4番目に大きな外交政策パートナーとの貿易交流を失い、深刻な問題に直面することになる。

昨年1月から7月までのセルビアとロシア間の貿易額は24億ドルに達し、2021年の同時期と比較して56.94%増加した。

2021年の両国間の貿易額は28億ドルに達し、2020年に比べて13%増加した。金額的には、セルビアのロシアへの輸入はほぼ10億ドル、より詳細には9億9,620万ドルに達し、ロシアからセルビアへの輸出額は18億ドルに達していた。

2020年から2021年にかけて、セルビアはロシアへのリンゴの輸出量が最も多く、2年前の輸出額は9,400万ドルであった。当時、空気入りタイヤは約6,000万ドル、タイツは4,450万ドルで輸出されていました。セルビアはまた、紙と厚紙、キャットフードとドッグフード、医薬品をロシアに輸出している。

ロシアからセルビアへの総輸入量の 4 分の 1 以上がガスである。2020 年から 2021 年にかけて、石油と鉱油の輸入は 3 億 3,100 万ドルに達したが、約 4 億 6,200 万ドル相当のガスを輸入した。

さらに、セルビアはロシアから鉄、たばこの抽出物とたばこ、ミネラル肥料、尿素、航空機とヘリコプターの部品を輸入している。

ロシア外務省 M.ザハロフ公式代表によるブリーフィング

ロシア外務省報道官ザハロフ:米国と EU はセルビアに反ロシア制裁を受け入れるよう強制している。存知のように、EU は海上輸送によるロシア産石油の輸入と、セルビアなどの第三国を通過する輸送を禁止した。これと、NIS がアドリア海の石油パイプラインを介してロシアから「ブラックゴールド」を受け取ったという事実を考慮し、このルートは今年 1 月 1 日から我が国に閉鎖された。

さらに、2 月 5 日以降、セルビアはロシアで生産された燃料を輸入できなくなった。これは、EU がウクライナでの武力紛争のためにこのセグメントに禁輸措置を課したためである。

一般的に、セルビアはもはやロシアの石油に頼ることができないという事実は、現在、より高いコストで他の供給業者からそれを購入しなければならないという事実につながっている。 私たち(セルビア)の市場にはロシアの石油に代わるものがあり、そのほとんどはイラクから輸入されている。

ウクライナでの特別作戦の開始後、モスクワは石油のコストを引き下げ、セルビアはロシアの競合他社よりも 25% 低い価格で石油を購入した。ロシアの石油価格が下落した後、セルビアはこの国から「ブラック ゴールド」のほぼ 45% を購入している。

セルビアがロシアに対して制裁を課す場合、この措置はモスクワよりもベオグラードをはるかに傷つける。

結局のところ、わが国(セルビア)がロシア市場に輸出する商品は、ロシアが需要を満たすために必要なすべてのほんの一部にすぎない。私たちの主な輸出製品であるリンゴについて話しているとしてもである。

我が国(セルビア)が制裁を課せば、ロシアの報復措置に直面することは明らかである。つまり、モスクワはセルビアへのガス輸出へのアプローチを再考する可能性がある。その後、ロシアの競合他社は現在、セルビアを含むヨーロッパが必要とする量のガスを提供できないため、我が国のガス消費者の供給に関して解決できない問題が発生する。



●ミュンヘン安全保障会議でにこやかに談笑するブリンケンドイツ外相ベルボック(20

23年2月18日)

ブリンケン「ドイツは、世界の平和、安全保障、経済繁栄、人権に関する不可欠なパートナーである」。そのパートナーのエネルギー供給手段を破壊した輩のセリフ。茶番は続く。



●「南の国々？」(2023年2月18日)

今こそ、南の国々と手を携えて、ウクライナの平和の準備に全力を尽くそう。私たちは団結して、より強くなるのです。

<https://twitter.com/i/status/1626641919110483974>

※ツイッター・コメント:南の国々とは? 搾取し続けているアフリカの国々のことか?



●G7 外相会合はじまる ロシア制裁とウクライナ支援継続を確認へ(2023年2月18日) ※G7=フランス・アメリカ・イギリス・ドイツ・イタリア・カナダ・日本

ロシアによるウクライナ侵攻から1年となるのを前に、日本時間の18日午後7時すぎからドイツでG7=主要7か国の外相会合が始まりました。侵攻が長期化する中、結束してロシアへの制裁とウクライナ支援を継続する方針を確認する見通しです。

G7外相会合は、世界各国の首脳や閣僚らが集まり安全保障について話し合う「ミュンヘン安全保障会議」に合わせて開かれたもので、日本時間の18日午後7時すぎに始まりました。

日本が、ことし、G7の議長国として初めて開く外相会合で、林外務大臣や各国の外相が出席してい

ます。

冒頭、議長を務める林大臣は北朝鮮のミサイル発射に言及し、「北朝鮮による過去に例のない頻度での弾道ミサイルの発射は日本の安全保障への差し迫った脅威であり、国際社会の平和と安全にとっても脅威だ。到底容認できず、G7 で緊密に連携していきたい」と呼びかけました。

また、ウクライナ情勢をめぐり「法の支配に基づく国際秩序を守り抜くという G7 の確固たる決意を示したい」と述べました。

会合には、このあと、ウクライナのクレバ外相も加わりロシアがウクライナに侵攻してから今月 24 日で 1 年となり、エネルギーや食料の価格が高騰するなどの影響の長期化や「支援疲れ」も指摘される中、会合では、結束してロシアへの制裁とウクライナ支援を継続する方針を改めて確認する見通しです。

また、林大臣は、アジア唯一の G7 メンバーとして、覇権主義的な動きを強める中国なども念頭に、世界のどこであっても力による現状変更を認めず、国際秩序を維持・強化することの重要性を訴えるものとみられます。会合のあと、議長を務める林大臣が、声明を発表するとともに、記者団の取材に応じ、議論の成果などについて説明することになっています。



●フォン・デア・ライエン「ウクライナ支援の倍化を」(2023年2月18日)

ウルスラ・フォン・デア・ライエンは、ミュンヘン安全保障会議での発言で、ロシアの侵攻を撃退するためにウクライナへの軍事支援を「倍加する」よう呼びかけた。



※ツイッター・コメント:ウルスラ・フォン・デア・ライエンもアメリカの軍産複合体のしもべなのかな。ウクライナ国民の悲劇を感じないのか。戦争屋が EU のトップ集団に多くいるようだ。

●ボバンとレクサスの久々映像(2023年2月18日)

ロシアのイタズラ電話ハッカーボバンとレクサス:イタズラの被害者はマーク・エスパー。
 軍需企業レイセオンの幹部でもある元国防長官、共和党。
 ”勇敢なウクライナ人がアメリカがやりたくない汚い仕事をしてきている”
 ”ロシア本土を攻撃するべき”

<https://twitter.com/i/status/1625991555810201600>



●戦争マシンへの怒り(2022年2月19日開催の集会)

ウクライナ戦争の記念日と大統領の日の週末に、
 12月30日(日曜)の午後19時~21時にリンカーン記念館に
ご参加ください。ベテラン、スピーカー、
 ロックミュージシャン、コメディアンなど。集会の後、
 私たちはホワイトハウスに行進し、ウォーモンガー・
 イン・チーフのジョー・バイデンに要求を伝えます。

私たちの要求

- 1 ウクライナでの戦争のためのもう1ペニーはありません
- 2 和平交渉
- 3 戦争インフレを止める
- 4 NATOを解散させる
- 5 世界的な核の緊張緩和
- 6 ペンタゴンの予算を削減
- 7 CIAと軍産ディープステートを廃止する
- 8 戦争と帝国の廃止
- 9 市民的自由の回復
- 10 ジュリアン・アサンジを釈放せよ

※安齋注:すごい集会ですね。アン・ライトは昔立命館であったことがありました。

●スコット・リッター/ウクライナ化学兵器使用の動画を完全黙殺する西側世界(クレイトン・モリス&スコット・リッター、2023年2月16日)

クレイトン・モリス:ウクライナ軍がドローンを使った化学兵器攻撃をしているようです。ドローンを使ってロシア軍の頭上に毒ガスのキャニスターを投下しているのです。これが事実なら明確な戦争犯罪です。ウクライナ兵がある種の致死性化学物質をキャニスターに封入し、それをドローンに搭載して

いる様子を写した動画や、また実際にドローンからそれらのキャニスターがロシア兵の上に投下され、ロシア兵が苦しみがいて死んでいく動画などがこの 2 日余りの間に YouTube 上に掲載されました。

二番目の動画はここで紹介しません。見るに堪えない残酷なものだからです。関心のある人は検索して探し出せば見る事ができるでしょう。

全ては今日から遡ること約 20 年前の、国連安全会議の席でコリン・パウエルが炭疽菌の白い小瓶を振りかざし、私たちを戦争に引き摺り込んでいった時の事を彷彿させます。その結果、何百万と言う人が命を失うことになりました。

やがてパウエルの証言が全て作り事だったことがわかり、私たちは今その事を知っていますが、当時はみんなが騙されました。けれどもあの時、コリン・パウエルの嘘を暴き、戦争を止めようと奮戦した一人の男がいました。彼は化学兵器と兵器一般について豊富な知識と経験を持っていました。

前国連武器査察官のスコット・リッターです。こんにちは、スコット。Redacted へ、ようこそ。あの時、あなたがイラク戦争で経験し、世界に警告したことが今、またウクライナで起きています。動画を見てどんな気持ちですか？あなたの頭の中で警鐘が鳴り響いていますか？

スコット・リッター：初めに、査察官として、私はその動画の真偽について真剣に考える必要があります。私は自分の目と耳を信じますが、査察官として、私には真偽の証明が必要となります。まず動画から、そこに映っている人々を特定できます。私たちは彼らが誰であるかを知っています。

彼らは得意げに製造しているのは、シアン化水素系毒物のキャニスターのようです。シアン化水素は致死性の毒ガスです。それを使ってあなたを殺すことができます。動画を見ると、彼らは空から投下できるように、その毒ガスキャニスターをドローンに装着している様子です。

二番目の動画は見るに堪え難いものでした。文字通り、私の心は打ち砕かれました。もっと生きたかった人々、死にたくなかった人々が、考えられる限りで最も悲惨な死を迎えなければならなかったからです。その詳細については、私はここで言いませんが、きれいな死とはとても言えません。

スコット：私はそれらの動画が本物だと信じたいですが、しかし、やはり、証明が必要です。

ここで少し、ダブル・スタンダードについて話をします。例えばもし、これがシリア軍の兵士たちが同じことをしている動画だったらどうでしょうか？

シリア軍兵士が得意げに毒ガス入りキャニスターを製造している動画だったらどうでしょうか？そして、それがホワイトヘルメットなどの、米英組織の頭上に投下され、彼らが苦しみがいて死ぬ動画だったらどうでしょうか？

アメリカは即刻、国連安全保障理事会に鳴り物入りの緊急会議を招集するだろうと私は確約できます。そこで OPCW による徹底的調査を要求すると請け合います。国連に根拠を持つ OCPW の調査を利用して、つまり、そこから国連憲章第 7 条の「軍事的介入」に持ち込もうという魂胆です。

アメリカは 100%間違いなくやると思います。しかし、それが今ウクライナ軍がやったという話になると、アメリカは完全に沈黙しています。全世界が沈黙しています。この動画を完全に黙殺しています。OPCW が沈黙しています。私は現在の OPCW を全く信頼していません。

どうぞ、皆さんには誤解してもらいたくないのですが、私が信頼していないのは OPCW 設立の理念ではありません。OPCW は「化学兵器拡散防止・全廃」という崇高な理念のもとで創設され、それを実践してきた組織でした。

しかし、組織そのものがアメリカに乗っ取られ、今では全く別のものに成り果ててしまいました。現

在の OPCW は完全にアメリカのツール・NATO のツールに過ぎません。

私はここで詳細に入ることはしませんが、皆さんには私が書いたものを読むことをお勧めします。また、アロン・マテが OPCW の嘘と欺瞞について substack に優れたレポートを書きましたから、どうぞ行って確認してください。

OPCW には一般のメディア、ソーシャル・メディアを常にモニターしている部局がありますから、あの動画をすぐに発見できたはずで。

「シリア政府が化学兵器を使って市民を虐殺している」というデマ動画が大量に流出した時、OPCW は額に青筋を立てて「世界はシリア政府に対し今すぐ行動(経済制裁・軍事行動)を起こさなければならない」とラッパを吹きまくりました。

OPCW よ、ウクライナ兵が得意げに化学兵器を製造している、あの動画を見なかったとは言わせないぞ。OPCW よ、なぜあの時のようにウクライナ政府に対し徹底的調査を要求しないのか。なぜ、国連安全理事会にウクライナ政府化学兵器製造・使用の調査を要求しないのか。

ウクライナ政府に対し、経済制裁を要求しないのか。国連軍による軍事介入の必要を訴えないのか。なぜ、何もなかったかのように沈黙しているのか？この明らかな戦争犯罪の可能性に対し、なぜ沈黙しているのか？

沈黙することの危険は、結果としてウクライナ軍にさらなる化学兵器使用を奨励し、エスカレートさせることになるからです。沈黙することは共犯行為なのです。動画の中では、二つのキャニスター投下が写っていました。私はまだ全体図を知りません。

しかし、動画の中で、数百本のキャニスターが映っていました。人間に対しあの大量のキャニスターが使用させるのを、私たちはこのまま黙認するのでしょうか？前線で他のロシア軍部隊に対してすでに使用されているという噂もあります。それを記録した動画もあります。

もし、ウクライナ軍が私たちの沈黙を「化学兵器を使っても、誰も咎めない」と解釈してエスカレートさせていったとしたらどうなるのでしょうか？シアン化水素を使った化学兵器製造は難しい仕事ではありません。化学の知識がある者なら、むしろ簡単な仕事です。

ウクライナ軍にはそれを工業的レベルで大量生産することが可能です。二酸化カルボニル、マスタード・ガス、糜爛性ガス、神経ガスなどは、化学肥料や殺虫剤から化学的に簡単に転用できます。私たちはウクライナにそれをこのままやらせるつもりでしょうか？

アメリカ合衆国には実際にそれをやってきたオゾマシイ歴史があります。OPCW が創設されるずっと前からです。私たちはイラクを唆して、アルファ半島にいたイラク人に対し毒ガスを使用させました。私たちはそういうことをやってきました。

かつてイラク人を使ってそれをやったように、今また、ウクライナ人を使って同じことをやろうと言うのでしょうか？HIMAR を使わせたように、毒ガスを使わせようと言うのでしょうか？同じ事をまた繰り返すのでしょうか？

もう一度言いますが、沈黙は犯罪に加担するのと同じです。アメリカ合衆国政府が沈黙しています。ヨーロッパが沈黙しています。日本が沈黙しています。沈黙する事で、私たち全員がウクライナの戦争犯罪を奨励し、エスカレートさせているのです。

「化学兵器は禁止されなければならない」という理念はいったいどこに行ってしまったのでしょうか？ウクライナがロシア虐殺に使用する分については OK だとでも言うのでしょうか？かつてドイツ人はユダヤ人虐殺にサイクロン B を使いました。

ユダヤ人に使うのなら OK だとドイツ人は言いました。大した事では無いと言いました。いいえ、人

間に化学兵器を使用するのは人道に対する犯罪です。人間に化学兵器を使用することが大したことではない訳は無いのです。

クレイトン:今日のツイッターのハッシュタグのトレンドは「戦争犯罪人ゼレンスキー」が圧倒的です。ところが今日、イギリス首相リシー・スーナックが国会でゼレンスキーを前に、「ゼレンスキーが求めるものに対しイギリスはどんな支援を惜しまない」と演説しました。

みんな一斉に立ち上がり、拍手喝采でした。誰一人として、ウクライナの化学兵器使用について質問しませんでした。少なくとも私は、聞きませんでした。あなたはどうでしたか？

スコット:いいえ、私も聞きませんでした。化学兵器だけでなく、ウクライナ軍がロシア兵捕虜を処刑しているところを撮った動画についても誰も質問しませんでした。捕虜処刑は戦争犯罪です。ゼレンスキーは戦争犯罪人です。

紳士淑女の皆さん、どうぞ、ゼレンスキーは戦争犯罪人であるという単純明快な事実を理解してください。ゼレンスキーが外国の政治家と会うために飛行機で飛ぶごとに、ゼレンスキーはその国の議会で最高の待遇を受け、最高の状況でそこで演説することを許されています。

おぞましい戦争犯罪人が最も神聖な政治の場所であるべきアメリカ議会からアメリカの人々に向かって演説することを私たちは許しているのです。私たちが理解しなければならないのは、ゼレンスキーは戦争犯罪人だということです。

ゼレンスキーが化学兵器を使用し、捕虜を処刑しているだけでなく、彼はナチスのイデオロギーを奨励し、ゼレンスキーの政府は、現代史上最もおぞましい人物ステパン・バンデラを国家の英雄として讃えている政府だということです。

アドルフ・ヒットラーを讃え、何千何万というユダヤ人、ポーランド人、ロシア人を虐殺したステパン・バンデラを法律で国家英雄に定めている政府だということです。子どもたちは学校で公式にステパン・バンデラを英雄として教えられ、尊敬するように教育されます。

私たちの税金がそのために使われていることを理解してください。私はアゾフ・バタリアンやその他のネオナチ・ナショナリストの事だけを言っているのではありません。

ウクライナの正規軍が、(西)ウクライナ国民が、子どもたちがステパン・バンデラを国家の父、英雄として讃える歌を歌っているということです。そしてそれと全く同じように、私たちは議会でもテレビでもどこでもステパン・バンデラを英雄としてアメリカ市民に向かって教育しているのです。

もう一度言いますが、沈黙は犯罪です。戦争犯罪を受け入れ、許容し、共犯しているのです。

スコット:もう一度言いますが、沈黙は犯罪です。戦争犯罪を受け入れ、許容し、共犯しているのです。

クレイトン:私たちは次から次へと現れる、その種類のたくさんの動画を見ています。子どもたちが彼らの親たちと一緒にステパン・バンデラの像に敬礼している動画です。開いた口が塞がりません。

ここでまたあの化学兵器のメカニズムについて聞きたいのですが、彼らはあそこで毒ガスのキャニスターを製造し、ドローンに装着していますね。そしてあなたは化学兵器は簡単に製造することができると言いました。

すでにウクライナ軍は、アメリカの提供した武器を使って一般市民を攻撃しています。アメリカの

HIMARS が学校や病院を攻撃しているので、アメリカも NATO それら戦争犯罪の共犯者です。同じように、それらの化学兵器使用についても NATO は共犯関係にあると思いますか？

スコット:NATO はそれら全ての戦争犯罪において完全なる共犯者です。共犯には犯行に直接関与するもの、知識・道具・方法・動機などを提供・教唆して間接的に関与するものと、知っているのに止めようとしないものの三種類があります。軍事法廷ではこの三つの種類で有罪となります。

軍隊には道徳状の義務があります。私がここで軍事法定を持ち出した理由は、ウクライナに武器を提供し、知識を授け、訓練しているのは、アメリカ合衆国の制服を着た、正式なアメリカ軍の軍人たちだからです。彼らはウクライナのやっている事が戦争犯罪であることを知っています。

知りながら、それを止めようとしません。それどころか積極的に唆しています。それはアメリカ合衆国も戦争犯罪人になってしまった事を意味します。沈黙しているアメリカ市民全員が戦争犯罪者になってしまった事を意味します。ウクライナの戦争犯罪を奨励しエスカレートさせているからです。

クレイトン:ここであなたに 20 年前に撮られた動画、コリン・パウエルが私たちをイラク戦争に引き摺り込んでいった国連安全理事会での演説の動画についてコメントしてもらいたいのですが。あなたはあの時、それが嘘であることを暴きました。

事実は大量破壊兵器も化学兵器もないし、その証拠もないと警鐘を鳴らしました。しかし、政府はあなたを無視しました。逆にあなたを冤罪で刑務所に送りました。そしてその結果、何百万人という人が死ぬことになりました。20 年前を振り返って、どういう感慨がありますか？

スコット:私はとあるキッカケで国連武器査察官になりましたが、そこでの経験を通して今まで見えなかったたくさんのものが見えるようになったと思います。査察官になる以前から、私は政府の意図を知っていました。政府がサダム・フセインをどうしようと考えているのか知っていました。

私がホワイトハウス入りした時、人々は私を世間知らずの無邪気なボーイスカウトと呼んで揶揄いましたが、私は無邪気なボーイスカウトではありませんでした。私は政府の意図をちゃんと知っていたからです。政府の意図ははっきりしていました。

それはサダム・フセインを殺すこと、イラクのレジーム・チェンジでした。しかし、国連の意図は違っていました。国連の意図はイラクの武装解除であり、それはアメリカの意図:レジーム・チェンジと矛盾していました。私は悩みました。私は U.S. マリーンです。アメリカ軍の軍人です。

アメリカ政府の意図に従うことは、アメリカ政府に都合の良い嘘、つまりサダム・フセインは大量破壊兵器を持っているという嘘に辻褃を合わせた虚偽の報告をすることです。私は自分で善悪の判断ができる大人です。ですから、私は嘘の片棒を担ぎたくなかったのです。

でも、私は政府の言うとおりの虚偽の報告をしていたかもしれません。私はアメリカ軍の軍人です。それに私自身、当時のほとんど全てのアメリカ人が信じていたように、サダム・フセインは地上で最も邪悪な人物だと信じていましたから。

しかし、私を呼んだ政府の官僚は私にはっきりとこう言いました。

「ノー、スコット。アメリカ政府はあなたを国連武器査察官に任命したのです。これは政府からの命令です。あなたは国連憲章に従い、国連決議に従い、国連安全保障理事会議長の下、全身全霊で国連査察官としての任務を全うしてください」と言いました。

私は「それはアメリカ合衆国政府の意思ですね？」と聞きました。彼らは「イエス」と答えました。です

から私はアメリカ政府の命令通りに行動した事になります。しかし、ホワイトハウスで現実に進行していたのはまさにその正反対のこと、つまり、みんなで口裏を合わせて嘘をつく事でした。

私も同調を求められましたが、「いえ、私はアメリカ合衆国政府から私に課せられた任務：国連武器査察官としての義務を全うします」と答えました。ですから水面下では常に激しい葛藤があったことになります。

私はレジーム・チェンジという政府の目的と武装解除という国連の目的の間に矛盾があることを理解していました。私がU.S.マリーンである限り、私にはU.S.マリーンへの忠誠があります。そこで筋を通すためにマリーンを辞めました。

あの時、私は、国連の任務を全うしろと言っておきながら、私が査察官に就任したその日から嘘の片棒を担ぐように迫ってきた政府に私は裏切られたと感じていたのでしょうか。私はた 5 年いへん腹が経ちましたが、本当に裏切られたと感じたのはそれより後になってからの事でした。

それは全く別な話です。私は自分自身が軍人でもあり、それゆえ戦争の悲惨をよく知っています。戦争は絶対に、最後の最後の最後の手段でなければならず、それを避けるためにありとあらゆる努力をしなければならないという強い信念が私にはあります。

政府がアメリカの人々に嘘をつき、アメリカを戦争にひきこんでいったなら、何千何万というアメリカ人も死ぬことになるのです。ですから、実際に政府が嘘で戦争を始めようとしているのを見た時、私は戦争を止めるために全力でその嘘を暴かなければならなかったのです。

アメリカという国全体がイラク戦争にひきずり込まれようとしていた時でした。私はコーリン・パウエルを深く尊敬していました。INF に現実の政治の世界で生命を吹き込むことができたのは彼のおかげです。

